

三年間にわたり、

次世代を担う**学生**と企業が**協働**し、企画・制作。

CSRへの取組みを記載した「**Eblo Report 2012**」を発行してきました。



この取組みはニッセイエプロ株式会社 が参加する国連グローバルコンパクトへ提出する活動報告書（COP〔Communication on Progress〕）の制作にあたり、武蔵野大学環境学部（矢内秋生 教授／学部長）佐々木重邦ゼミの活動として、同ゼミ学生とニッセイエプロ株式会社が「CSRレポートを企画・制作する」協働プロジェクトとして2010年より行っています。昨今の厳しい就活環境の中、学生が日頃の研究を実践する場として本プロジェクトに参加することは、学生並びに大学にとっても有益な機会であり、私たち企業にとっても「次世代の人材育成」に貢献できる取組みになるものと考えました。本プロジェクトは2010年にキックオフし、当面の三年をそれぞれ「見える」「取組む」「成長する」のフェーズに分けて取組み、本年はその三年目のCOPとして「Eblo Report 2012」を完成させるに至りました。この間、参加した3年生（当時）女子3名は、自身の就活において本プロジェクトでの経験と実績を活かし、全員が早い時期に希望通りの結果を勝ち取ることが出来ました。その学生は異口同音に「本プロジェクトは就活において実戦的であり、有効であった」と言っています。また、本年、参加の3年生男子2名、2年生女子2名も「短時間で自分の成長を可能にする機会」との感想を述べています。このような取組みでは、学生の役割はとかく、企業へ赴いても、お手伝い的な作業になりがちと聞かれます。本プロジェクトは、全工程にわたって学生が企画・提案し、制作のディレクションを行うスタイルで進行、今回もすべてECO REPORT WAY 21のメンバーが推進しました。10月には、コンセプトメイキングからラフデザイン、レイアウトの打合せを重ね、そして経営トップへのインタビュー、全社員アンケートによる調査から取材、原稿案の執筆まで全て学生主導で行いました。私たちニッセイエプロ株式会社は、これからもコミュニケーションの分野で、社会貢献への取組みを果たしていきます。

2012年12月

ニッセイエプロ株式会社 グローバル・コンパクト推進委員会